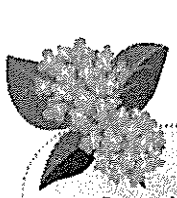
維新公園交番だより　令和8年10月号

全国地域安全運動に参加しよう

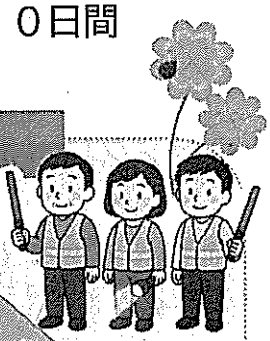
維新

維新公園交番
924−0110
（警察署代表TEL）

１０月１１日（日）～１０月２０日（火）の１０日間
～みんなでつくろう　安心やまぐち～



令和８年度の重点目標





- ○　特殊詐欺の被害防止
- ○　地域防犯力の強化
- ○　犯罪に加担させないための対策
- ○　自転車盗の被害防止

「全国地域安全運動」は、安心して暮らすことのできる地域社会を実現するため、防犯協会をはじめとする地域の安全を担う関係機関・団体と警察が、地域安全活動を強化し、地域住民の皆様とともに様々な取組を実施するものです。

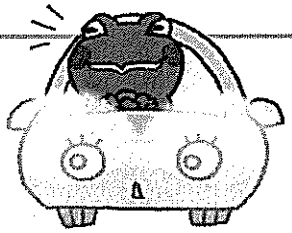
この機会に、犯罪被害防止対策について家族で話し合い、防犯について考えてみましょう。

夕暮れ・夜間の交通事故防止



夕暮れ時や夜間は視界が悪くなるため、歩行者や自転車などの発見が遅れがちです。
例年交通事故が多発する傾向にありますので、次のことを心がけましょう。

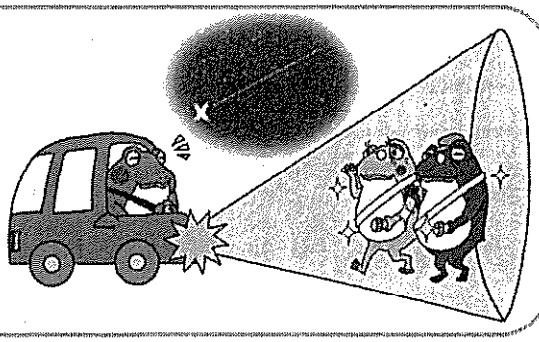
ドライバーの方へ



◎ 早めのライト点灯を心がけましょう

◎ ハイビームを上手に活用し、歩行者や自転車を早期に発見しましょう

歩行者の方へ



◎ 白っぽい明るい色の服装を着用しましょう

◎ 反射材を活用し、自分を目立たせましょう

「第３４回山口県暴力追放県民大会」の開催

県内における暴力団排除意識の高揚と暴力追放運動の活性化を図り、暴力団の存在しない山口県を実現するため、第３４回山口県暴力追放県民大会を開催します。

記

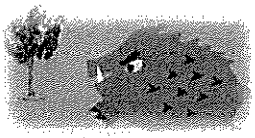
1　**開催日時**
令和８年１０月２２日（木）午後１時３０分から（概ね２時間）

2　**開催場所**
下関市菊川町大字下岡枝１１７番地
下関市菊川ふれあい会館（アブニール）

3　**大会内容**
【第１部】大会
主催者・来賓あいさつ、表彰、基調報告、大会宣言ほか
【第２部】特別講演
講師　彦島地区暴力追放運動推進協議会・彦島自治連合会
会長　二見　勝敬（ふたみ　かつよし）氏
【第３部】アトラクション
警察音楽隊による演奏・カラーガード演技



狩猟に伴う事故防止



狩猟期間は、１１月１日から来年の３月３１日までの間です。
この期間中、ハンターが山間部等において猟銃や空気銃による狩猟を行っています。

ハイキングや山仕事等で山中へ入られる方へのお願い

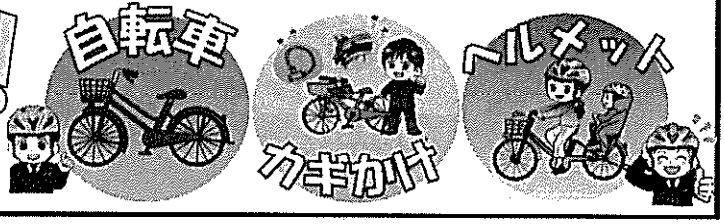
- ○　獲物と見間違われないよう、**赤や黄色など目立つ色の服装**で出掛けましょう。
- ○　鈴や携帯ラジオなど、**音が出るものを携行**しましょう。

ハンターの方へのお願い

- ○　銃を発射する際は、**周囲の安全を十分に確認**してください。
- ○　「ガサガサ」という物音だけで銃を発射することは絶対に避け、**獲物であることを確実に目で確認**してください。
- ○　銃を持ち出した場合は、盗難や置忘れがないように**管理を徹底**してください。

自転車盗被害防止！

合言葉は「自転車・カギかけ・ヘルメット」



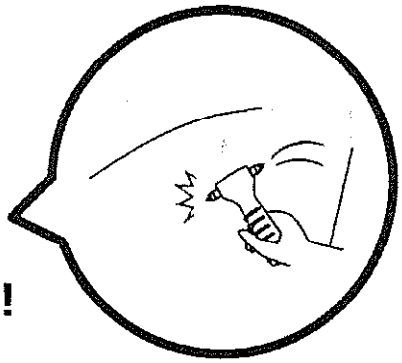
レベル５大雨特別警報

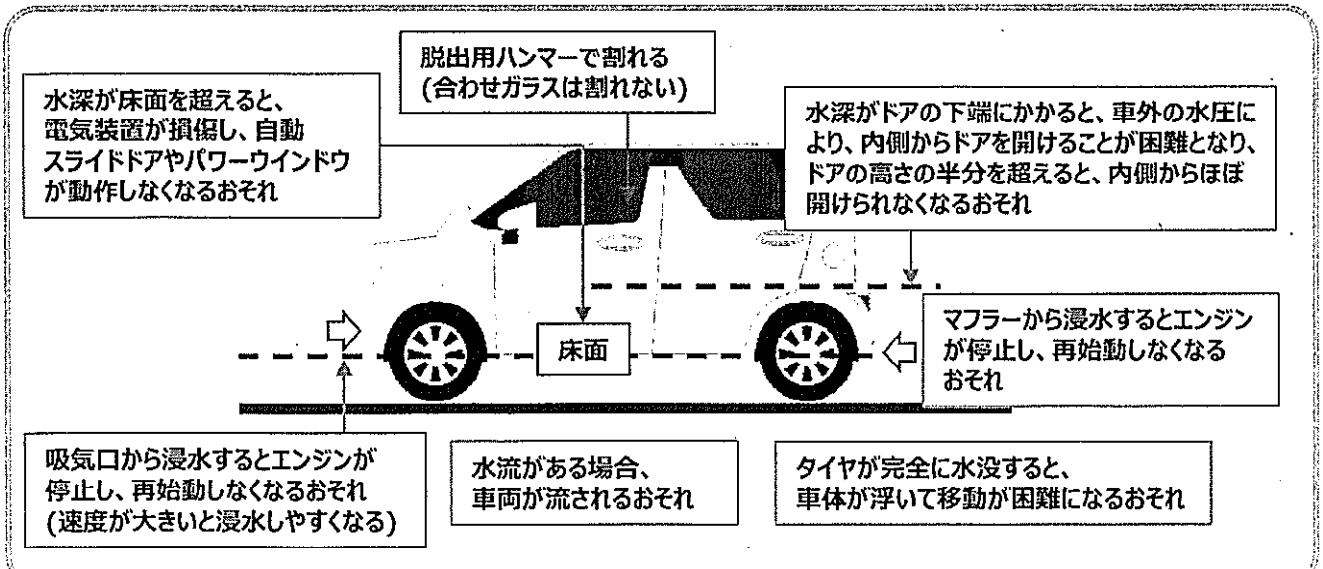
が発表されたときの車運転の注意点

浸水が懸念されるときは
車での移動を控えてください！
冠水した道路への進入は
命に関わる危険があります
安全を最優先に行動しましょう！

車はわずか30cm程度の浸水でも走行不能になる場合があります

エンジン停止や水圧で
窓やドアが開かなくなります
万が一、ドアが開かなくなった場合の備えとして、
脱出用ハンマーをすぐに使える位置に！





徒歩または早めの避難を心がけ、
やむを得ず車を使う場合は冠水した道路を避けてください

内閣府(防災担当)・警察庁・消防庁・国土交通省・気象庁

レベル５大雨特別警報が発表されたときにとるべき行動

すでに安全な避難ができず、
命が危険な状況です
むやみに移動せず
今いる場所よりも安全な場所へ移動して
身の安全を確保しましょう

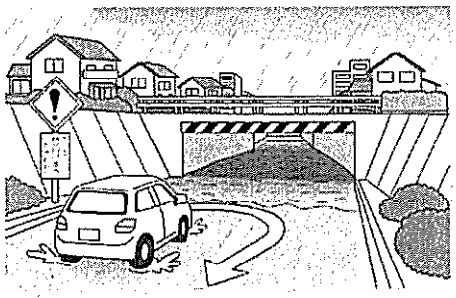
浸水した場所での車移動は危険！

立ち往生し水没するおそれがあります。
むやみに移動せずに安全な場所で状況が落ち着くまで待機しましょう。

河川・用水路・冠水した箇所へ絶対に近づかない！

特に地下施設やアンダーパス、低地は短時間で浸水する危険があります。

⚠ 浸水深30cm以上となる低地は要注意



市町村が発令する警戒レベル４避難指示までに必ず避難しましょう！

レベル５大雨特別警報が発表される前段階から最新の気象・避難情報を確認！

テレビ、ラジオ、インターネット、SNS、防災行政無線等で
最新の情報を確認してください！

浸水リスクを確認しましょう！

ご自身のいる場所が、河川の氾濫や内水氾濫による浸水リスクがないか、
自治体が公表しているハザードマップや防災情報を確認しましょう。

内閣府(防災担当)・警察庁・消防庁・国土交通省・気象庁